

横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会
横浜市都市美対策審議会表彰広報部会

合同部会

日 時：平成22年1月28日（木）

10時から12時まで

場 所：松村ビル別館 502会議室

【 次 第 】

1 開 会

2 各部会委員の紹介

3 議 事

(1) 座長の決定について

(2) 第5回横浜・人・まち・デザイン賞の進め方について

(3) その他

3 閉 会

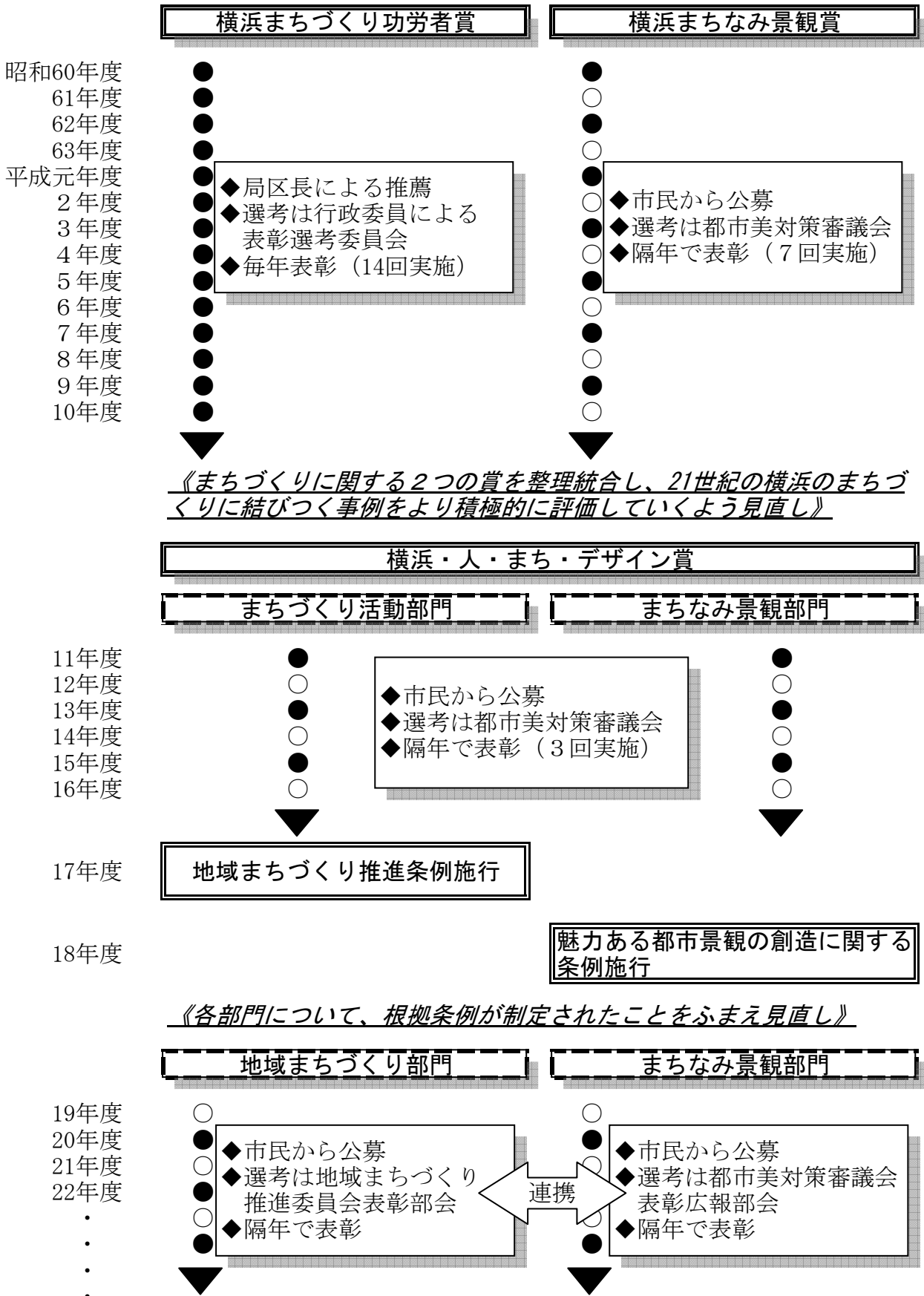
■横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会委員名簿

	氏名(敬称略)	現職等	備考
部会長	たかみざわ みのる 高見沢 実	横浜国立大学大学院教授(都市計画)	
委員	さたに かずえ 佐谷 和江	株式会社 計画技術研究所代表取締役(まちづくり)	
	なみき なおみ 並木 直美	株式会社 並木設計代表取締役(ランドスケープ)	
	やまだ ひろかず 山田 浩和	公募市民	
	よしだ ようこ 吉田 洋子	吉田洋子まちづくり計画室	

■横浜市都市美対策審議会表彰広報部会委員名簿

	氏名(敬省略)	現職等	備考
部会長	かねこ しゅうじ 金子 修司	横浜商工会議所	
委員	ささき よう 佐々木 葉	早稲田大学社会環境工学科教授 (景観)	
	しのざき つぎお 篠崎 次男	公募市民	
	やまざき ようこ 山崎 洋子	作家	
	よしだ こういち 吉田 鋼市	横浜国立大学大学院工学研究院教授 (建築史)	

横浜まちづくり顕彰事業の推移



「横浜・人・まち・デザイン賞」について

「横浜・人・まち・デザイン賞」は、横浜市内のまちづくりの推進に寄与することを目的として、地域の個性を活かした魅力あるまちづくりへの貢献が認められる「地域まちづくりの取組」と、「まちなみを構成する建築物等」を顕彰し、その担い手を表彰するものです。

本賞は、「地域まちづくり部門」と「まちなみ景観部門」の2部門で構成され、市民公募によるものの中から、「地域まちづくり部門」は横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会、「まちなみ景観部門」は横浜市都市美対策審議会の選考に基づいて表彰しています。

今回の合同部会では、第5回横浜・人・まち・デザイン賞のスケジュールや募集概要など、両部門で共通する内容について審議します。

前回実績（第4回 横浜・人・まち・デザイン賞）

(1) 応募期間

平成20年4月～6月

(2) 応募状況

地域まちづくり部門：40通(36件) / まちなみ景観部門：63通(55件)

(3) 表彰対象案件

ア 地域まちづくり部門：6件(活動を支援した個人・団体：2団体)

イ まちなみ景観部門：6件

(4) 表彰式

平成21年7月（ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター）

■第 5 回横浜・人・まち・デザイン賞の実施に向けて 各部会で出された主な意見

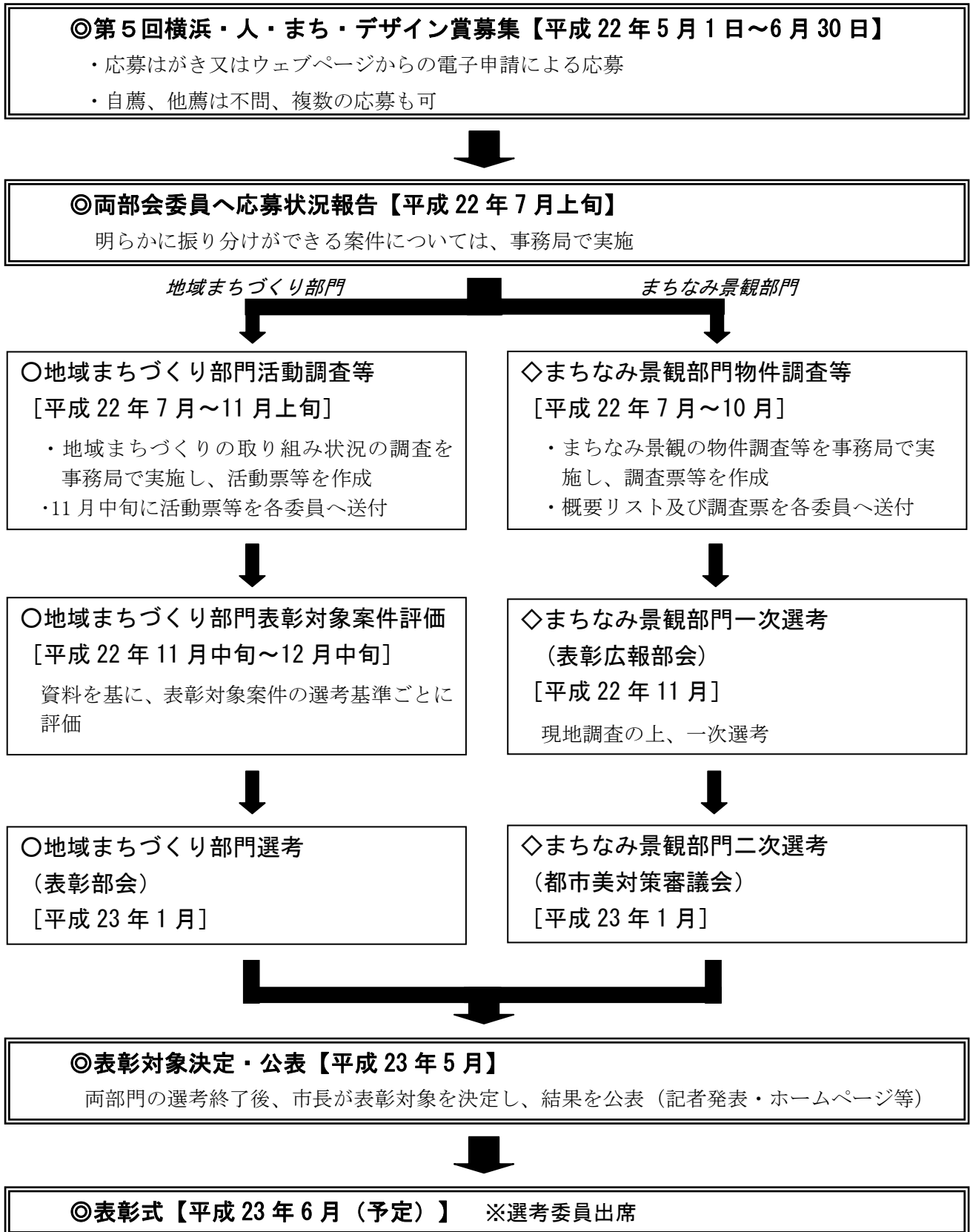
【横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会（平成 21 年 12 月 1 日）】

- ①まちなみ景観部門の選考状況等の情報を提供してほしい。
- ②初めから両部門での選考・表彰をしないと決めないこととしたい。
- ③この表彰の認知度を高める PR ができるとよい。
- ④応募件数を増やす工夫に努めたい。
- ⑤応募者が記入しやすい活動調査票にしてほしい。
- ⑥表彰式は多くの人に興味を持ってもらえるものにできるとよい。
- ⑦この賞を心からほしいと思ってもらえるような宣伝や記念品などを考えたい。
- ⑧選考されなかった団体へのフォローを厚くしてほしい。

【横浜市都市美対策審議会表彰広報部会（平成 21 年 12 月 17 日）】

- ①案内図と航空写真が記載されている程度のリストでもよいので、応募物件の情報をできるだけ早く委員に提供してほしい。
- ②郊外部から、より多く応募していただけるような PR をお願いしたい。
- ③応募物件を増やすため、各業界や学校などに広く PR をお願いしたい。
- ④一次選考は現地調査も含めて 1 日で行いたい。
- ⑤現地調査は件数を絞り込んで、なるべく全部を見られるようにしたい。
- ⑥募集案内のリーフレットについては、わかりやすい表現を工夫してほしい。
- ⑦表彰式については PR 性の高くなるような内容を検討したい。
- ⑧将来は、それまでの受賞物件を集めた本などが発行できるとよい。

■スケジュール



■第5回 横浜・人・まち・デザイン賞について

※下線の部分は、第4回との変更点。

	地域まちづくり部門	まちなみ景観部門
根拠法令	● 横浜市地域まちづくり推進条例第15条 市長は、地域まちづくりに関して特に著しい功績のあったものに対し、表彰を行うことができる。	● 横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例第17条 市長は、魅力ある都市景観の創造に特に著しい功績のあったものに対し、表彰を行うことができる。
表彰対象	● 活動の主体となる団体及びその取組を支援した個人または団体を表彰します。	● 横浜市内のまちなみ、建築物、プロムナード、モニュメントなど景観づくりに貢献した事業者、設計者、施工者などを表彰します。 ● 運営者として貢献した人や、ものづくりに貢献した人も表彰対象とする場合があります。
応募期間	● <u>平成22年5月～6月（2ヶ月間）</u>	
応募要件	● 横浜市内における地域まちづくりであること。 ● おおむね3年以上の取組実績があること。 ● 過去に「横浜まちなみ景観賞」、「横浜まちづくり功労者賞」及び「横浜・人・まち・デザイン賞」で表彰されたものは対象外とします。	● 横浜市内に存する「まちなみ」や「建築物等」であること。 ● おおむね10年以内に新しく造られたものや、歴史的建造物等再生されたものであること。
応募方法	● 応募はがき、又はウェブページからの電子申請による応募 ● 自薦、他薦は不問、複数の応募も可	
両部門の振り分け調整	● <u>本人の意思を確認した上で錯誤と認められる案件については、事務局で振り分けを行います。</u> ● <u>両部門の応募・選考状況について、両部会委員に情報提供を行います。</u>	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 実態調査（事務局作業） <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募があった地域まちづくりに取り組んでいる団体には、選考に必要な内容を記載した書類を事務局へ提出していただきます。 ・ 事務局職員による実態調査を行い、活動票を作成します。 ・ <u>各委員へ活動票等を送付するとともに、各案件の応募要件について情報提供を行います。</u> ● 各委員で事前評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員は、各案件について、選考基準ごとに1点（推す）又は2点（特に推す）の加点による評価を行います。 ● 地域まちづくり推進委員会表彰部会で選考 <ol style="list-style-type: none"> ① 応募要件の確認 ② 上記の集計結果を基礎資料としたうえで、総合的に審議します。 ③ 評価資料及び上記の審議をふまえ、委員一人5票を限度に投票し、委員の過半数の得票（3人以上の支持）があれば顕彰活動となります。 ④ 表彰対象案件の取組を支援した個人又は団体も同時に表彰対象とするか審議します。 <p>【表彰対象案件の活動を支援した個人又は団体の基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域まちづくり推進条例の趣旨を踏まえた、まちづくりコーディネーター（専門家）、NPOなどのまちづくり支援団体等 ・ 今後の地域まちづくり活動支援のモデルとなるような顕著なもの ・ 活動団体を構成する組織や、活動団体と連携してその活動に取り組む団体、公的な団体は対象外 	<p>1次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市美対策審議会表彰広報部会で一次選考をします。 ● <u>委員には応募物件の場所、概要がわかるリストを事前（10月上旬予定）に提供します。</u> ● <u>委員は最終的な応募物件調査票に基づき、各自で10件程度候補をあげます。全体で20件程度に絞り込んだ上で、それらを現地調査し、審議会へ提案する物件を選考します。</u> ※各委員が推薦する物件数、現地調査方法は、応募の件数・物件の内容を見てから再度検討します。 <p>2次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 部会からの提案を基に、都市美対策審議会最終選考をします。（5件程度）
選考基準	<ol style="list-style-type: none"> ①公共性（地域社会への貢献） ②積極性 ③地域住民等の幅広い参加や他団体との連携 ④今後の活動の継続性・発展性 ⑤創意工夫 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の個性と魅力にあふれた新しい都市景観の創造に寄与しているもの ②まちの活性化に寄与し、賑わいのある都市景観を形成しているもの ③歴史的なまちなみ、及び自然景観の保全に寄与し、又はそれらと調和を保っているもの ④横浜らしさの演出に寄与しているもの ⑤都市景観と環境や福祉への配慮などの先進的な取組が調和しているもの ⑥その他、優れた都市景観の形成に寄与しているもの
結果の公表	● 市長による表彰対象案件決定後、記者発表及び本市ウェブページ等により結果を公表します。	

第5回 横浜 人まち デザイン 賞 募集!

魅力的なまちづくり活動や、まちの個性と魅力を
推薦したいです。

地域の活動にも、近所のまちなみにも、
デザインが活きている。

自薦他薦は問いません。

皆さんの「応募を待たない」がホト。

まちなみ景観部門

地域の個性と魅力をつくりだしている「まちなみ」や「建築物等」を募集します。

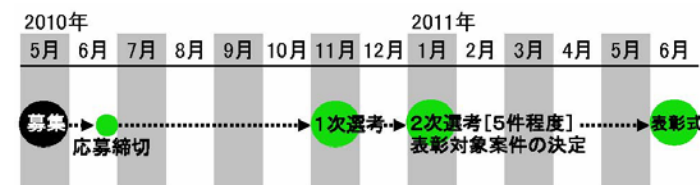
横浜市内のまちなみ、建築物、プロムナード、モニュメントなど景観づくりに貢献した事業者、設計者、施工者など*を表彰します。

※運営者として貢献した人や、ものづくりに貢献した人も表彰対象とする場合があります。

応募要件

- 横浜市内に存する「まちなみ」や「建築物等」であること。
- おおむね10年以内に新しく造られたものや、歴史的建造物等再生されたものであること。

選考の流れ [予定]



横浜市都市美対策審議会が選考します。

選考の視点

- 地域の個性と魅力にあふれた、新しい景観の創造に寄与しているもの
- まちの活性化に寄与し、賑わいのある景観を形成しているもの
- 歴史的なまちなみ、および自然景観の保全に寄与しているもの
- 横浜らしさの演出に寄与しているもの
- 景観と環境や福祉への配慮などの、先進的な取り組みが調和しているもの

表彰

入賞者には、横浜・人・まち・デザイン賞を授与します。

この部門は、横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例に基づき表彰するものです。

地域まちづくり部門

市民が自ら主体となって、創意工夫し、地域まちづくりを推進している活動を募集します。

活動の主体となる団体と、その取組を支援した個人・団体を表彰します。

過去の受賞活動の紹介

まちづくりの交流・情報発信拠点 **さまざまな人が集い、語る**
「人のつながり」からまちを活性化したいと、まちづくり拠点を開設。カフェや小箱ショップ、テント村など、市民が立ち寄りやすく、市民・団体同士のつながりが生まれやすい環境や仕掛けを備えている。

まちづくりのルールを作成 **ふれあいのある元気な商店街へ**
商店街におけるマンション建設に対して、商店街の活力や魅力を維持するために、自主的なまちづくり協定を作った。半年後には「地域まちづくりルール」に認定された。「地元の商店街らしさ」を求めて、さまざまなまちづくり活動を行っている。

応募要件

- 横浜市内における地域まちづくりであること。
- おおむね3年以上の取組実績があること。

選考の流れ [予定]



横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会が選考します。

選考の視点

- 公共性（地域社会への貢献）
- 積極性
- 地域住民等の幅広い参加や他団体との連携
- 今後の活動の継続性・発展性
- 創意工夫

表彰

入賞者には、横浜・人・まち・デザイン賞を授与します。

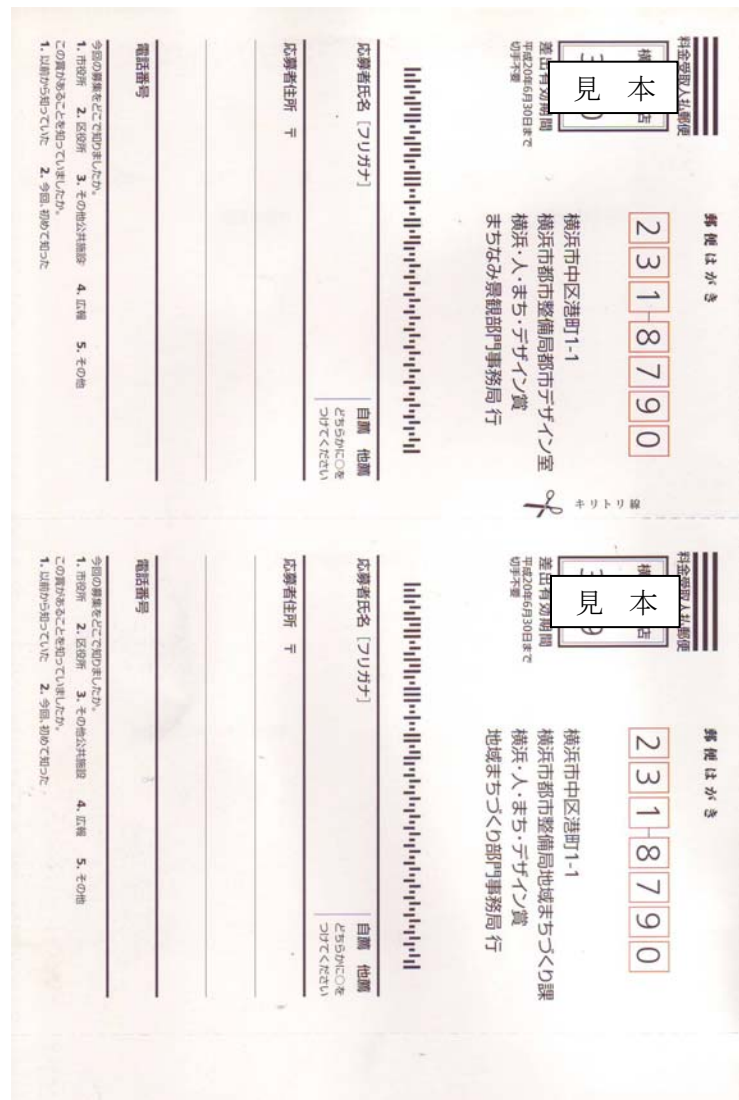
この部門は、横浜市地域まちづくり推進条例に基づき表彰するものです。

第5回 横浜・人・まち・デザイン賞

まちなみ景観部門 [応募・推薦対象の概要]	
名称 [フリガナ]	
所在地 区 町 丁目 番地 号	
応募・推薦理由	付近見取図

第5回 横浜・人・まち・デザイン賞

地域まちづくり部門 [応募・推薦対象の概要]	
活動の名称 [フリガナ]	
団体の名称[フリガナ]: 電話番号:	
応募・推薦理由	活動概要



応募 [推薦] 方法

- 左の応募はがきに必要な事項をご記入のうえ、切手をはらずにポストへ投函してください。
- 横浜市都市整備局のウェブページから応募することもできます。



- <http://www.city.yokohama.lg.jp/me/toshi/design/m11/>
- 自薦 [事業者や設計者、地域まちづくり活動を行っている本人など]、他薦は問いません。
 - おひとり様何件でもご応募できますが、応募はがき1枚につき1件の記入としてください。
 - 選考の過程の中で応募部門が変更される場合があります。

募集期間

平成22年5月1日(土)～平成22年6月30日(水)

問い合わせ先

[まちなみ景観部門]
 横浜市都市整備局都市デザイン室 Tel.045-671-2023
 [地域まちづくり部門]
 横浜市都市整備局地域まちづくり課
 Tel.045-671-2715

平成22年5月発行

ヨコハマ人・まち
 あなたのまちづくりのアイデアを形にしてみませんか?
 「ヨコハマ市民まち普請事業 平成22年度 まちづくりの提案募集!」
 応募受付: 平成22年4月19日(月)～平成22年5月21日(金)
 詳しくは、横浜市都市整備局地域まちづくり課
 (電話 045-671-2696)へ
 メールマガジン「ヨコハマ人・まち」を読みませんか?
 登録は、
<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/hitomachi>へ

横浜・人・まち・デザイン賞 [まちなみ景観部門] 表彰一覧

- ### 第1回 [平成11年度]
- 横浜ワールドポーターズ ナビオス横浜と運河パーク
 - 山手111番館とローズガーデン
 - 洗手亭
 - 大原隧道
 - 横浜ベイサイドマリナー
 - 富岡川せせらぎ緑道

- ### 第2回 [平成13年度]
- カトリック横浜司教館
 - 横浜情報文化センターと横浜地方・簡易裁判所
 - グランノア港北の丘
 - 辺瀾橋下流の水辺拠点
 - 中丸家長屋門とその周辺

- ### 第3回 [平成15年度]
- 日産自動車横浜工場 ゲストホール・エンジン博物館
 - フェリス女学院 中学校・高等学校1号館
 - 日本郵船歴史博物館
 - 馬車道のガス灯
 - 横浜港大さん橋 国際客船ターミナル
 - マーマのほら保育園
 - 天王森泉公園

- ### 第4回 [平成20年度]
- ①旧バーナード邸
 - ②二代目横浜駅遺構(ロワール横濱レムナンツ)
 - ③ZAIM(ザイム)
 - ④横濱媽祖廟
 - ⑤荒井沢市民の森
 - ⑥日本大通りとオープンカフェ

※実際には、第4回受賞作品の写真が入ります。

横浜・人・まち・デザイン賞 [地域まちづくり部門] 表彰一覧

- ### 第1回 [平成11年度]
- 環境エネルギー館の整備・運営
 - 横浜駅西口振興活動
 - 都心部を中心にした歴史を生かしたまちづくり啓発活動
 - 仲町台駅周辺まちづくり啓発活動
 - 横浜駅西口駅前再開発事業
 - 元町仲通りまちづくり活動

- ### 第2回 [平成13年度]
- 鶴見西口オープンカフェの運営
 - 横浜弘明寺商店街のまちづくり活動
 - 新横浜町内会のまちづくり活動
 - モザイクモール港北の建設と運営
 - 都筑民家園を巡る活動

- ### 第3回 [平成15年度]
- 横浜自然観察の森の案内・調査・環境管理活動
 - 旭ジャズまつりの企画・運営
 - 自然を生かした公園でのプレイパーク運営
 - 商店街の空き店舗活用による地域コミュニティ活動
 - 東神奈川駅東口地区市街地再開発事業の実現
 - 都市防災の研究・提言・知識の普及活動

- ### 第4回 [平成20年度]
- ⑦まちづくりのルールを作成(神奈川区大口通地区)
 - ⑧災害に強いまちづくり(西区西戸部)
 - ⑨障害者が生活しやすい環境づくり(中区伊勢佐木町)
 - ⑩みんなに愛されるストリート(中区日本大通り)
 - ⑪まちづくりの交流・情報発信拠点(港南区港南台)
 - ⑫いきいき、楽しく環境活動(金沢区六浦)

※実際には、第4回受賞作品の写真が入ります。

■第5回横浜・人・まち・デザイン賞の広報について(案)

広報内容	時 期	備 考
記者発表	平成22年4月下旬	
都市整備局ホームページ掲載	平成22年4月～	
募集リーフレット・ポスター配付	平成22年4月～5月	区役所、駅PRボックス等
広報よこはま「はま情報」募集記事掲載	平成22年5月1日	
神奈川新聞「市民の広場」募集記事掲載	平成22年5月上旬	
[新規] テレビ神奈川「ずばり！ 横濱」募集放送 ※お知らせコーナー	平成22年5月上旬	
[新規] 市庁舎1階市民広間 横浜・人・まち・デザイン賞企画展	平成22年5月	
[新規] 建築・土木系雑誌へ募集記事掲載		日経アーキテクチャー、 日経コンストラクション、 新建築等
市内建設関係の業界団体及び市内大学への情報提供		
市内地域まちづくり活動団体等へ情報提供	平成22年5月	